

上信国境の深山に日本の近代化に貢献した空中都市があった！

参加者募集

小串鉱山跡地見学会



10/17

(土)



小串鉱山は閉山してから55年が過ぎた。最盛期、小串は岩手県の松尾鉱山に次いで国内第2位の硫黄を産出する規模を有し、鉱山には2,000人超が居住、多いとき294人の小中学生(39年)がいて賑やかな街であった。親子三代にわたって居住した人もいたからここが人々のくふるさとでもある。悲劇もあった。S12年11月11日鉱山の裏山が崩れて「山津波」が発生し壊滅的な被害を受けた。死者245人、嬬恋村の災害でも2番目に大きな災害であった。復興、再生と閉山。語り継ぎたい鉱山の歴史を訪ねます。

【開催要項】

開催日 10月17日(土曜日) 10:30~
参加費用 1人1,000円(資料代、保険代等)
募集定員 20名(定員になり次第締め切ります)
申込み方法
電話により嬬恋村役場総務課まで
申込み期限 10月9日(金曜日)
問合せ先 嬬恋村役場総務課
0279-96-0511

【持ち物】

昼食、登山靴(運動靴、長靴可)、水、帽子、雨具
タオル、熊鈴、歩きやすい服装

【当日の予定】

08:30 万座・鹿沢口駅構内集合
受付・会式
08:45 小型バスにて移動
09:40 万座自然館(トイレ休憩)
10:30 毛無峠到着(バス待機)
10:40 徒歩にて鉱山跡地へ
11:15 鉱山地蔵堂到着
~鉱山跡地散策(昼食)
13:00 バス待機場所へ戻り出発
13:40 万座自然館(トイレ休憩)
15:00 万座鹿沢口駅到着(解散)



主催:小串鉱山跡地蔵堂保存会/事務局嬬恋村役場総務課 0279-96-0511